

3 平成18年度 須佐中学校研修計画

1 研究の主題

心身ともに健全で、主体的に行動できる生徒の育成
～キャリア教育の視点を入れた教育活動の推進～

2 設定の理由

本校の生徒は、いろいろな活動にまじめに取り組むが、根気強さや主体性に欠ける面が多く見られる。また、自己表現や他者との関わりが苦手で、人間関係に誤解を生むこともあり、思いやりの気持ちを育み、時・場所を考えた言動のできる社会性を育てる必要がある。

また、進路についてのさまざまな課題が指摘される今日の社会状況から、発達段階に応じて一人ひとりが自らの生き方について考え、社会人として自立していくために必要な意欲・態度や能力の育成を図ることが大切になる。

以上のようなことから、本年度は、「主体性」と「キャリア教育」をキーワードにしての研究主題を設定した。生徒の実態を変えていくためには、生徒一人ひとりの人格を尊重し、生徒の個性・創造性等の伸長を願い、全ての教育活動の中で「生きる力」の育成を図ることが大切である。そのためにもキャリア教育の視点を入れた教育活動を推進することによって個々のキャリア発達を向上させ、21世紀を主体的に生き抜くことのできる生徒を育成したい。

3 研究仮説

キャリア教育の視点に基づいて身につけたい能力をはっきりさせた教育活動を行うことによって自主性や社会性を育てることができる。

4 研究推進上の留意点

キャリア教育の視点に基づいた教育活動の見直し
授業の改善・支援の工夫

- ・キャリア教育の視点から授業形態や授業評価の工夫を行う
- ・基本的な生活習慣、学習規律の確立
- ・体力の向上、部活動の充実
- ・総合的な学習の充実
- ・研究授業の実施
- ・定期的な授業評価
- ・各教科の年間計画におけるキャリア教育に関わる事柄のチェック

キャリア教育に関する研修

- ・講師招聘の研修1回

キャリア・スタート・ウィークへの取り組み